

ICT ニュース 2021/9 月号

2021/9/14 発行 ICT/感染管理委員会

全国で拡大している変異した新型コロナウイルスへの感染。感染力が高いとされる変異や免疫が働きにくくなるとされる変異が報告されています。いま国内のほとんどの地域で、新型コロナウイルスは変異ウイルスの”デルタ株”に置き換わったと推定されています。首都圏ではすでに感染全体のほぼ90%、関西でも60%余りを占めるなど、急速に置き換わりが進んでいると国立感染研究所は推測しています。



◎皆さん、知っていましたか？

報道などではわかりやすさのため、最初に変異株が見つかった国や地域を冠した呼び方がされていました。しかし、これは誤解や偏見といった別の問題を生むのではないかと、最初に見つかったからといって、その国で変異株が生まれたとは限らないことと、あたかもその国が発祥地のようにとらえられ、その国にルーツのある人が差別されるのではないかと、世界保健機構（WHO）は懸念しました。「汚名」を着せられることを嫌がって、変異株を見つけた国などが発表を控えれば、世界的な対応の遅れにつながるおそれもあると考え、ギリシャ語のアルファベットで呼ぶようにしたそうです。

新型コロナウイルス 変異株 (WHO=世界保健機関まとめ)

NHK

VOC = 懸念される変異株 () 最初に見つかった国

画像提供 米国立アレルギー感染症研究所

α	β	γ	δ
アルファ (イギリス)	ベータ (南アフリカ)	ガンマ (ブラジル)	デルタ (インド)

η	ι	κ	λ	μ
イータ (イギリス)	イオタ (アメリカ)	カッパ (インド)	ラムダ (ペルー)	ミュー (コロンビア)

「VOC = 懸念される変異株」の特徴

NHK

アルファ	ベータ
<ul style="list-style-type: none"> ▼従来のウイルスに比べ感染力強い ▼入院、重症、死亡リスク高い ▼ワクチンの効果への大きな影響なし 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ワクチンの効果への影響が懸念
ガンマ	デルタ
<ul style="list-style-type: none"> ▼ワクチンの効果への影響が懸念 	<ul style="list-style-type: none"> ▼感染力が強まっている ▼入院に至るリスク高まっている可能性 ▼ファイザーのワクチンではウイルスを中和する効果への影響無しか最小限 (WHO)

デルタ株

NHK

感染力	従来のウイルスの約2倍
入院のリスク	// 2.08倍
ICU 必要のリスク	// 3.34倍
死亡リスク	// 2.32倍

(WHO、カナダ・トロント大学グループの研究)

デルタ株に対するワクチンの発症予防効果

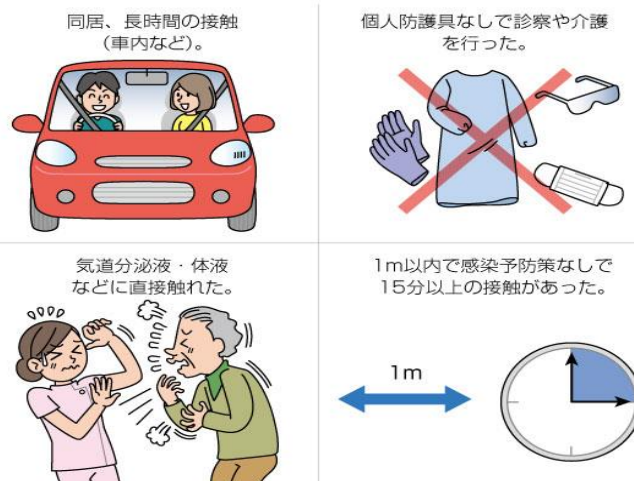
NHK

	1回接種後	2回接種後
ファイザー	35.6%	88.0%
アストラゼネカ	30.0%	67.0%

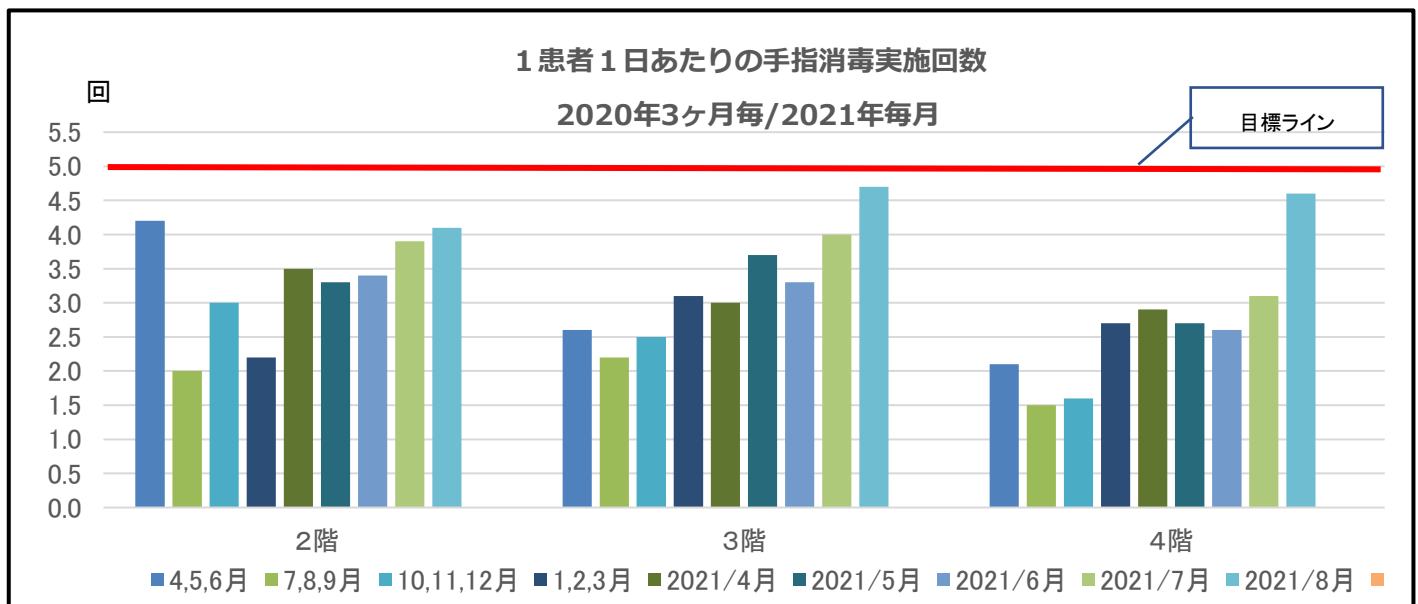
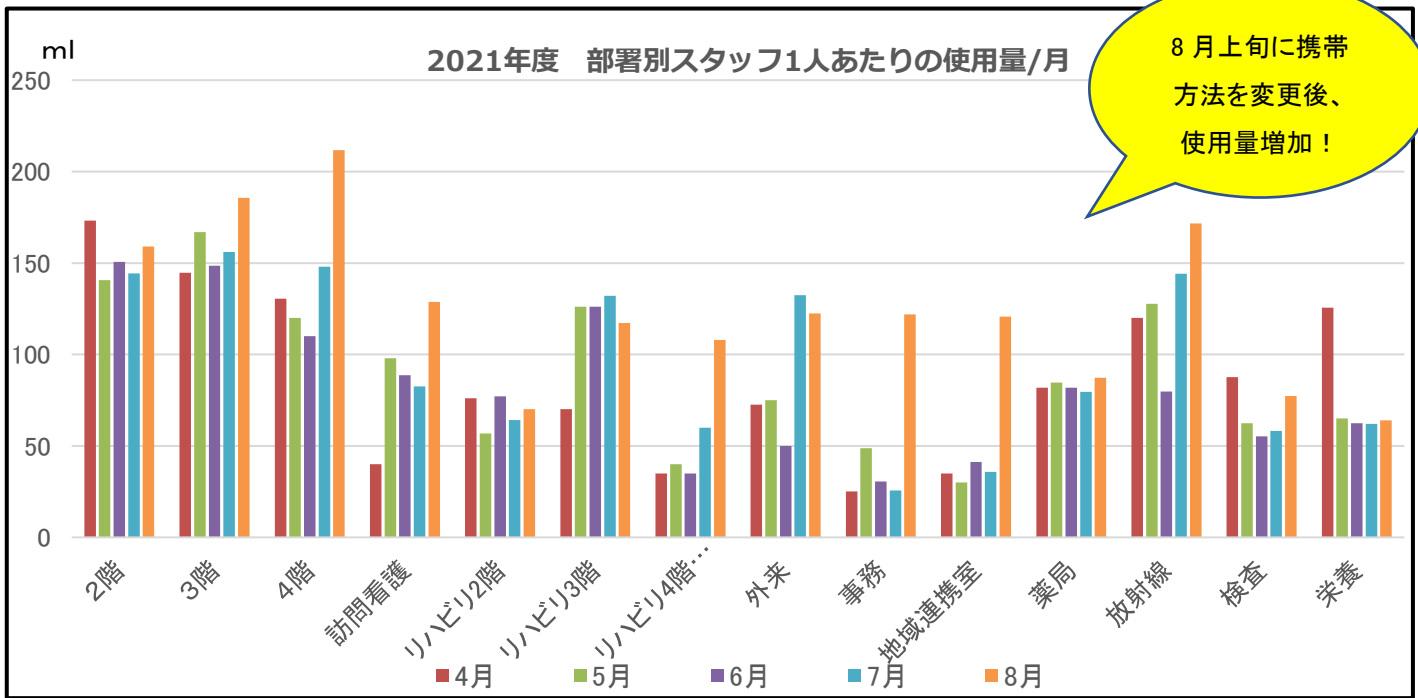
(イギリス保健当局・ロンドン大学などの研究)

◎皆さんへ

ワクチン接種が済んだからと安心せず、感染者・濃厚接触者にならないように引き続き対策をお願いします。濃厚接触者とは



アルコール手指消毒剤使用量報告



★目標ライン：5回までもう少しです。手指衛生遵守をお願いします！

